

たかしま 広報

Takashima City
Public Relations

2022

令和4年

3

月号

No. 266

森林公園くつきの森

スノーシュー体験会

2月9日(水)、森林公園くつきの森で、びわ湖高島観光協会主催のスノーシュー体験会が開催されました。

主な
内容

特集1 ふるさと応援寄付金で高島市が潤います ……②

特集2 誰一人取り残さない「地域共生社会の実現」に向けて…④

・高島市農産ブランド認証制度を紹介します ……⑦

・令和4年度 軽自動車税(種別割)の金額をお知らせします …⑩

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしまが読めます!

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

マチイロ

検索

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者のご負担になります。

高島市公式

Facebook

Instagram

LINE

で情報発信中!

こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。

・Facebook「あっと高島」・Instagram「takashima_city #たかP写真館」・LINE「@takashima_city」【たかP】



イメージキャラクター
「たかP」

○安全、便利で快適にするために

4200万円(7.0%)

防災無線の維持管理や
OBC 高島運営補助など！
(公共交通対策事業 / 防災行政無線維持
管理事業 / 企業誘致事業 / 災害対策一般
事業 等)



○子どもが輝くために

2億6260万円(43.8%)

保育料の完全無償化や
妊婦健診費用の全額助成など！
(妊婦健診事業 / 妊婦・出産包括支援事業
/ 保育施設入所事業 / ICT 教育機器整備事
業 / 青少年育成事
業 / あすくる高島
事業)



○元気に安心して暮らすために

1億3910万円(23.2%)

中学生までの子どもの医療費無償化や
高齢者の交通助成など！

(福祉医療事業 / 障がい者相談支援事業 / 福祉
総合交通利用助成事業
/ 住宅介護用品助成事
業 / スポーツ関係団体
育成事業 等)



○自然や水文化を活かすために

1億5630万円(26.0%)

地域のまちづくりに関する事業や
地域の観光資源の保全など！
(地域まちづくり事業 / 観光振興施設改修
事業 / 観光振興企
画運営事業 / 文化
財保存推進事業
等)



令和3年度
ふるさと応援
寄付金活用総額

6億円

ふるさと納税情報



市のホームページ
「びわ湖高島えんむすび」



ふるさと納税受付サイト
「ふるさとチョイス高島市」



ふるさと納税受付サイト
「楽天ふるさと納税高島市」



ふるさと納税受付サイト
「さとふる高島市」



寄付者の方との交流

11月13日(土)に開催された「第7回ふるさとチョイス大感謝祭」に出演し、オンラインで、市外の寄付者の方と交流を行いました。当日は、参加された寄付者の方に高島市の紹介や寄付金の使い道などをお話しし、ふるさと納税参画事業者の方にも、寄付者の方とのエピソードなどをお話しいただきました。



令和2年度寄付総額
6億3763万9665円
寄付件数 1万5489件

寄付金は次のようなまちづくりのために活用しました！

たかしほ基金をフル活用しました！

高島市が潤います

図 総合戦略課 (25) 8114

市外のご家族、ご友人にお知らせください！

高島市への寄付金は、市民の皆さんのために活用しています。また、返礼品には高島市の特産品を提供しています。そのため「ふるさと納税」が多くなるほど住民サービスが向上し、高島市やその特産品を広くPRすることができず。

ぜひ、皆さんも市外在住のご家族、ご友人に高島市への「ふるさと納税」をお知らせいただけませんか。

ふるさと納税は次のページの寄付者からいただいた応援メッセージの紹介(抜粋)

○子育て世代と子どもたちのために使ってください。
○コロナ禍でいろいろ大変なおおありと思いますが、風光明媚な土地柄を活かして、後世に残る街づくりをしていくってください!! 応援しております。

○自然豊かな琵琶湖、そして里山のある風景が美しい高島市、これからはますます魅力発信して、人々を惹き付ける魅力あるまちづくりを期待しています。

○子どもたちの未来のため、そして障がい者など医療・行政サポートを必要としている人々のために使ってください。

○子どもたちが笑顔になれる街づくりを頑張ってください。

○素敵な自然がいつまでも守られていく事を願っています。

ふるさと納税情報にある「受付サイト」から申し込みできます。また、「ふるさと納税カタログ」は市役所本館の総合戦略課窓口で配布しています。市外にお住まいの方で寄付を希望される方には、市からカタログをお送りします。お知り合いの方にぜひ、高島市のふるさと納税をお知らせください。

※高島市在住の方からの寄付は返礼品がありませんのでご注意ください。

誰一人取り残さない 「地域共生社会の実現」に向けて

☎ 社会福祉課 暮らし連携支援室 ☎ (25) 8120



高島市社会福祉協議会キャラクター
「きらりちゃん」



たかしま見守りネットワークイメージ
キャラクター「みまもるくん」

コロナ禍で私たちの生活は大きな影響を受けました。自粛生活や人流抑制によって、地域の交流の機会は減少し、身体機能の低下、孤立からくる不安の増加など新たな生活課題が生まれています。また、近年の人口減少や生活スタイルの変容により地域での日常的な見守りや買い物、移動支援など生活面での手助けが必要な世帯も増加しています。市では、このような実情を踏まえて、すべての人々が、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことができる「地域共生社会」の実現を目指して、さまざまな取り組みを進めています。

「地域のつながりの中で、すべての市民が元気でいきいき暮らすことができる高島市」を目指して、関係機関の協力を得て、平成26年から取り組んでいます。現在、市内外71の協力事業者と市が協定を締結し、地域に広がる見守りネットワークを構築しています。協力事業者の皆さんが、地域で何か異変を感じたり、気になることを見つけたりしたときに、連絡を受け、関係機関が連携して対応する仕組みとなっています。

協力事業者向け説明会・意見交換会を実施しました

▼協力事業者からの声

- 市に連絡することはハードルが高いと感じていたが、説明会で顔の見える関係ができると連絡しやすい。
- 本当に困っている人がSOSを出せているのか、普段の活動の中で気付いていきたい。
- 従業員にも声かけして、周知していきたい。



高島運輸株式会社 社長 萬木 秀哉さん (右)
桑原 大輔さん (左)

地域と社会福祉協議会の協働による取組み 見守りネットワーク活動

見守りネットワーク活動は、安否確認はもちろん、住民同士が互いに気にかけて、支え合う関係を築いていく「福祉のまちづくり」です。具体的な活動を推進する組織は、各区・自治会に設置された福祉推進委員会です。

福祉推進委員会活動のい・ろ・は

① 「い」

さまざまな人とお茶を飲みながら、おしゃべりできる身近な居場所づくりをすすめましょう。

② 「ろ」 「見守り」

一人暮らしなど支援が必要になると思われる方の日頃の見守り活動をすすめましょう。

見守りネットワーク活動

③ 「は」 「助け合い」

日常生活のちょっとした困りごとを手助けする活動をすすめましょう。

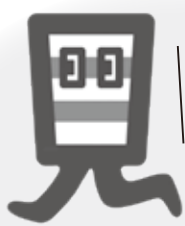
「見守り会議」で専門職と連携！

見守り会議では、保健師やケアマネジャー、社会福祉協議会職員などの専門職が、住民の皆さんと顔の見える関係づくりを行いながら課題を共有し、活動について一緒に考えています。

現在、高島市203地区のうち、見守り会議を実施している地区は99地区です。このような見守り活動や見守り会議が個人や地域の課題発見につながります。



▶三尾里区(安曇川町)の見守り会議の様子



見守りネットワーク活動に関するお問い合わせはこちらまで

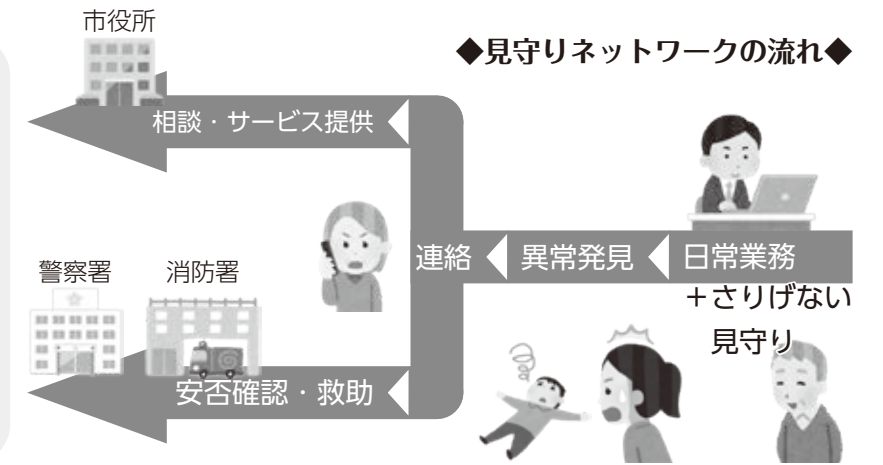
☎ 高島市社会福祉協議会 地域福祉課
マキノ・今津 ☎ (27) 1700
新旭・安曇川 ☎ (25) 5730
朽木・高島 ☎ (36) 8222

さりげない見守りと気遣いに あふれる地域を目指して

地域で暮らす一人一人の抱える困りごとが複雑化・多様化するとともに、地域での交流やつながりの希薄化が心配されます。「年老いても、病気になるっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい。」このような思いを持った方も多いと思います。だからこそ、お互いがお互いを気にかけてくれる活動、地域づくりが求められています。

地域や企業・事業者の皆さんのさりげない見守りや気遣いが、困りごとの早期発見・対応につながります。ご協力をお願いします。

◆見守りネットワークの流れ◆



見守りネットワーク事業の協力事業者を募集しています！

詳しくは、市のホームページをご覧ください。

